

新潟市教職員の資質向上に関する指標〔校園長〕

目指すこどもの姿	目指す人間像	目指す学校園教育
人とかかわることを通し、自ら判断・決定し、夢や目標の実現に向かう姿	しなやかに 世界と未来を創る人	「多様性」を前提とし、全てのこどもたちの「自分らしさ」が発揮され、「可能性を引き出す」教育
新潟市教育振興基本計画「にいがた学びのコンパス」		

本指標を活用し、これらを実現できる教職員としての資質・能力を高めていく。

新潟市教育委員会(令和8年4月)

	項目	求める姿			
B マネジメント力	児童・生徒・学校運営と実態把握の能力・資質 児童・生徒・学校運営と実態把握の能力・資質 児童・生徒・学校運営と実態把握の能力・資質 児童・生徒・学校運営と実態把握の能力・資質	校長1 学校運営	<p>【1 教育課題の把握・学校経営方針の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育活動に関わる様々なデータや自らの学校の強み・弱み、学校を取り巻く課題などについて、情報を収集・整理・分析して教職員間や学校運営協議会等で共有する。 学校の取り組むべき課題を明らかにし、教育目標を具現化するために、学校経営方針及び目標達成のための効果的な手段を適切に設定する。 	<p>【2 組織的な運営体制づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の目指す目標を浸透させて意識の共有を図り、達成に向けて教職員一人一人を支援し、リードする。 多様な背景、経験、専門性を有する全ての教職員がそれぞれの強みや適正等を生かして学校運営に参加する体制をつくる。 課題解決に向けて、関係機関と連携して職員間の調整をし、支援チームを組織・運営する。 家庭・地域との協働体制を構築し、学校内外の関係者の相互作用により学校の教育力を最大化する。 	<p>【3 家庭・地域・関係機関等との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針を実現するために、学校を取り巻く資源を効果的に活用する。 重要な事案について、関係者や関係機関等と交渉を行い、理解・協力を得る。
		校長2 学校教育の管理	<p>【1 教育課程の編成・管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> カリキュラム・マネジメントの視点をもって、社会に開かれた教育課程を編成して管理する。 インクルーシブ教育システムの構築にむけて、特別支援教育を推進する。 	<p>【2 財務管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的な教育活動を展開するための、予算執行・文書管理・施設管理を適正に行う。 事務職員との日常的な連携に取り組み、情報共有に努める。 	<p>【3 学校安全・危機管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> こどもたちや教職員の生命・心身を脅かす事故・災害・ハラスメント等、様々な場面に対応できる危機管理の知識や視点を備え、こどもの安全確保を最優先とし、教育活動における学校安全についての重要性を全教職員に意識させる。 問題発生の防止に努め、事故発生時には状況を的確に把握・分析し、迅速かつ適切に対応する。 計画やマニュアル等の作成と見直しを適切に行う。
		校長3 教職員の管理・育成	<p>【1 勤務環境の管理・業務改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員の勤務状況を踏まえ、業務の効率化・最適化に向けた校内体制を構築する。 教育目標を具現化するために、校務DX等による業務の効率化や教育活動の精選を推進する。 	<p>【2 教職員理解・人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教職員の適性や能力を把握して、適宜、配慮ある指導・助言を行い、主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛ける。 教職員の能力を向上させるための研修の機会、仕組みをつくり、学び続ける教職員を育成する。 	
		校長4 働き方改革を意識したマネジメント	<p>【1 在校等時間の適正化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員の在校等時間を把握・分析し、月30時間以内を目標に、業務の効率化・最適化に向けた校内体制を構築する。 業務量が基準よりも多い教職員に対して、適正な在校等時間になるよう、意識改革を促したり、業務量を調節したりする。 	<p>【2 業務の適正化(負担軽減)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校外の関係機関が担うことができる業務の外部移行を図る。 教職員のやりがいを大切にし、能力や適性に応じた質と量の業務分担を行う。 A I活用を含めた校務DXを積極的に推進し、業務の効率化を図る。 	<p>【3 教職員のウェルビーイングの実現を目指した環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員の心身の健康を守るため、面談やストレスチェック等を活用し、相談体制を確立する。 保護者や地域に対して、教職員の働き方改革についての理解を得る説明を行い、学校運営協議会を中心に協力を得る。
C 人間力	遂げたいこと 教員としての能力・資質 熱意をもち、人間関係を築く	9 使命感・熱意①③	C09	・自らが研究と修養に励むとともに、教職員一人一人が持ち味を生かしながら、これからの時代に必要な資質・能力向上を図ることができるよう支援する。	
		10 社会認識・コンプライアンス①②	C10	・教職員が学校及び教職の意義や社会的な役割・服務等を理解し、法令及び条例を遵守するよう、具体的な事例を通して指導する。 ・社会人として模範となる行動をとるとともに、様々な場面を通して教職員がTPOに応じた行動ができるよう指導する。	
		11 コミュニケーション②	C11	・教職員、保護者、地域の人等への他者理解に努め、自らの意見も効果的に伝えつつ、円滑なコミュニケーションをとり、相互の良好な関係を基に教育を遂行する。	
		12 セルフマネジメント③	C12	・自己の特性を把握し、業務の結果を常にモニタリングしながら目標達成に向けてモチベーションを維持して仕事に取り組む。 ・節度ある生活を心掛け、悩みや不安を一人で抱えこまずに相談するなどして、心身の健康を維持する。	
		13 創造性	C13	・最新の教育的動向を把握し、学校運営の持続的な改善を見通し、創意工夫をして業務を遂行するよう、教職員をリードする。	
BC共通項目 14 特別な配慮や支援等の対応⑮		BC14	・関係機関と連携し、特別な配慮や支援が必要とする児童生徒へ合理的配慮を行う校内支援体制を管理する。		
BC共通項目 15 情報活用⑯⑰		BC15	・学校におけるICT活用の意義を理解し、全教職員がAIを含めたICTや教育データを適切・安全・効果的に活用できるよう促しながら学校経営を推進する。		